



# 第70号 町長のしごとと日記

～元気で笑顔のあふれる福島町を実現するために～

【子供は地域の宝であることを再確認・・・】

町長室の窓から吹き込む風も初夏の風となり、心地良く感じられるようになってきました。

六月二十二日（火）から養殖昆布の本格的な収穫が始まり、浜が活気づいております。

これからお盆前の約一か月半、短期集中作業となりますが、安全操業を心がけていただきますようお願いいたします。

六月二十七日（日）に、認定こども園福島保育所の『第四十七回うんどうかい』が、保育所内のグラウンドで好天に恵まれ行われました。

昨年引き続き、新型コロナウイルス感染症に配慮し、競技を少なくするなど時間短縮の工夫をし、実施されました。

子どもたちの元気な姿を応援しようと、多くの方々の中で声援を送り、子どもたちは元気いっぱいグラウンドを駆け回りました。

全児童による「かけっこ」にはじまり、「紅白たま

入れ」、「やってみよう・ヒカレ」では、つばめ組全園児による遊戯で、グラウンドにキラキラ光の花が咲いたような感動をいただくことができました。

最後は、恒例の児童と保護者の「紅白リレー」で白熱したレースが展開されました。子どもたちの日々の成長を実感できた一日であり、また、地域の宝を再認識した一日でありました。

国の緊急事態宣言が六月二十日（日）に解除され、初めての週末である二十六日（土）に、岩部クルーズの状況確認のため現地へ行ってきました。当日は天気良好、風も良い状態です、青の洞窟も今年一番の青さを見せていたと、船頭さんが話してくれました。

お客さんは満席の状態です、町外から多くの方々を訪れ、岩部クルーズの醍醐味を堪能されておりました。

六月二十五日（金）に、函館の伝統あるレストラン五島軒とコラボした「あ

わびカレー」の発表会を吉岡総合センターで開催いたしました。

当日は、株式会社五島軒代表取締役社長の若山直氏にご同席いただき、多くのマスコミ関係者が出席され、新聞やテレビを通じて「福島町産の蝦夷あわび」を広く知っていただく機会となりました。

羽田空港などで先行販売しておりますが、七月一日（木）から本格的な販売が行われておりますので、是非、一度ご賞味ください。

五島軒では様々なレトルトカレーを販売しており、この度の商品がレトルトカレーの中で一番高額と伺っております。

少し高い値段（1個1,404円（税込）ですが、大切な方への少し贅沢なお土産品として活用いただければ幸いです。

町では、町内の業者の協力をいただき、蝦夷あわびの完全陸上養殖を行っており、現在、年間六万個の出荷体制を確立することができております。

今年から本格的に販売に力を注ぐこととしており、これまでの生・冷凍あわびに加え、新たな特産品として広がりがあり、ふるさと納税などでも積極的に展開することとしております。

東京都に第四回目となる緊急事態宣言が発令されております。全国的にまだ厳しい状況が続いておりますが、当町では六十五歳以上の高齢者へのワクチン接種が七月十日（日）をもって終了しており、現在、六十四歳以下の方々へのワクチン接種が始まっております。八月十日（火）までには、全ての希望者へのワクチン接種が終わる見込みです。

町では、今年も昨年同様、八月十三日（金）に、町民の皆さまへ感謝の思いを込めて、花火を打ち上げます。お盆に帰省した子どもさんやお孫さんと、ぜひ一緒に楽しんでください。福島町は、「誰一人、感染しない、感染させない」を合言葉に、引き続き感染症予防対策を講じてまいります。